

No.	名称	実施者情報	役割	年月日情報	場所	主催	参加者情報	概要
1	香川県高等学校理科部会研修会	中本剛	講師	2024年7月5日	香川県立琴平高等学校	香川県高等学校理科部会	香川県高等学校理科教員約40名	物理分野の講演として、「物理学における発想の転換」という題目で実施
2	2024年度算数・数学夏季研究会兼愛媛県統計指導者講習会	吉村直道	講演者	2024年7月25日	松前総合文化センター	愛媛県教育研究協議会・公益財団法人愛媛県教育会	122名（県内小・中・高校教員）	演題「現代の学校教育において目指す統計的な問題解決の方法とは？」のもと講演する。この講演は愛媛県統計指導者講習会の研修を兼ねたものとなっている。
3	だしの魅力をさぐるう	岡本威明 ヤマキ株式会社	出張講義	2024年10月30日	愛媛県南宇和郡愛南町立城辺中学校	愛媛県南宇和郡愛南町立城辺中学校	中学1年生（36名）、教員（4名）、企業の方（4名）	かつお出汁の美味しさ、機能、活用性について、鰹節削り体験の実施や出汁の試飲、出汁を活用したピーマンの苦味抑制の体験を実際にさせながら、企業と連携して授業を行った。
4	熱電変換を理解しよう！	中本剛	講師	2024年6月15日	愛媛大学教育学部2号館2階理科共同学	理科教育研修会	中学校教員2名	「熱電変換を理解しよう！」という題目で、熱電変換の基礎と教材への応用について講義を行った。
5	2024年度今治・越智算数・数学夏季研究会兼第1回算数・数学同好会	吉村直道	講演者	2024年8月7日	今治地域地場産業振興センター	今治・越智算数・数学同好会	30名（小・中学校の算数・数学教員）	演題「算数・数学の学習におけるICTを活用した授業実践」にて講演を行う。
6	西条市教科研修会（中学校数学部会）	吉村直道	講師	2024年8月8日	西条市立東予東中学校	西条市教育委員会	30人強（中学校数学教師）	講師として、「ICTを活用した授業実践」について研修を行う。
7	データサイエンス入門	吉村直道	講師	2025年1月29日	愛媛大学附属高等学校	教育学部附属科学教育センター・愛媛大学附属	高1生123名＋高校教員10名	課題研究を展開するにあたり高校生及びその指導にあたる教員を対象に、データサイエンス入門として統計的な問題解決の手法をいくつか解説する。
8	和算の教材への活用研究	安部利之 原本博史	講師	2024年7月27日	愛媛大学教育学部2号館4階多目的講義	理科教育研修会	3(高3)	和算研究会では愛媛大学や松山大学の教員・学生を始め現職教員も含めて研究活動を行っております。その活動や研究の紹介、そして教材として活用できる問題やその活用方法などを紹介したいと考えております。
9	愛媛の岩石標本づくり	佐野 栄	講師	2024年9月28日	教育学部3号館2階理科共同学生実験室3	理科教育研修会	教員1名（附属小教員） 学生15名	愛媛は国内でも多様な珍しい岩石や鉱物を観察できる県です。それは県内を北から領家帯、三波川帯、秩父帯、四万十帯といった、日本列島を形成するほとんどすべての地質帯が帯状配列するからです。今回の研修では、それぞれの帯を構成する岩石を用いて、自分だけのオリジナル岩石標本作製し、日本列島の生い立ちについて考えます。
10	プロジェクトワイルド一般指導者講習会	向 平和	講師	2024年10月19日	教育学部2号館2階理科共同学生実験室3	理科教育研修会	教員1名（附属小教員） 学生15名	アメリカで開発された環境教育プログラム「プロジェクトワイルド」の講習会を実施します。今年は新しい鳥編の内容も紹介したいと考えております。体を動かしながら環境について考えてみませんか？
11	理科教材の情報交流2024	佐野 栄 向 平和	講師	2024年12月7日	教育学部2号館2階理科共同学生実験室3	理科教育研修会	13名（小学校教員，中学校教員，高校教員，学生）	教育現場で活躍されている先生方や大学教員等に，理科の授業他で活用できる教材の紹介をしていただきます。教材の紹介や情報交換を行い，大学と教育現場の繋がりを一層深めることを目的に開催します。誰でも気軽に参加できる交流会です。終了後には懇親会を開催する予定です。
12	「転写・翻訳に関する教材キットの活用ー生命の基本原理の理解にむけて」	林 秀則 中村依子	講師	2024年7月27日	教育学部2号館2階理科共同学生実験室1	理科教育研修会	小学校教諭1名	高校の生物基礎、生物には分子生物学的内容が多く含まれているが、関連した実習には遺伝子組換え生物を利用するものがあり、通常の教室、設備では実施できないことが多い。一方、愛媛大学で開発され、市販されている転写・翻訳のキットはコムギ胚芽抽出液を利用してタンパク質を合成するため遺伝子組換え実験には該当しない。本講座ではこのキットを利用してタンパク質の合成実験を体験し、セントラルドグマの理解に向けた学習プログラムについて検討する。
13	研究者の受け入れ	向 平和 加藤 晶	コーディネータ	2024年10月16日～18日	教育学部およびプロテオサイエンスセンター	アジア生物学教育協議会第29回隔年会議	インドからの博士課程大学院生	AABE2024終了後に，3日間受け入れた。教育学部の授業参観，プロテオサイエンスセンターの見学および研究者との懇談，環境教育実践演習で1時間講義も担当いただいた。